

平成29年度  
事業報告書

自 平成29年4月 1日

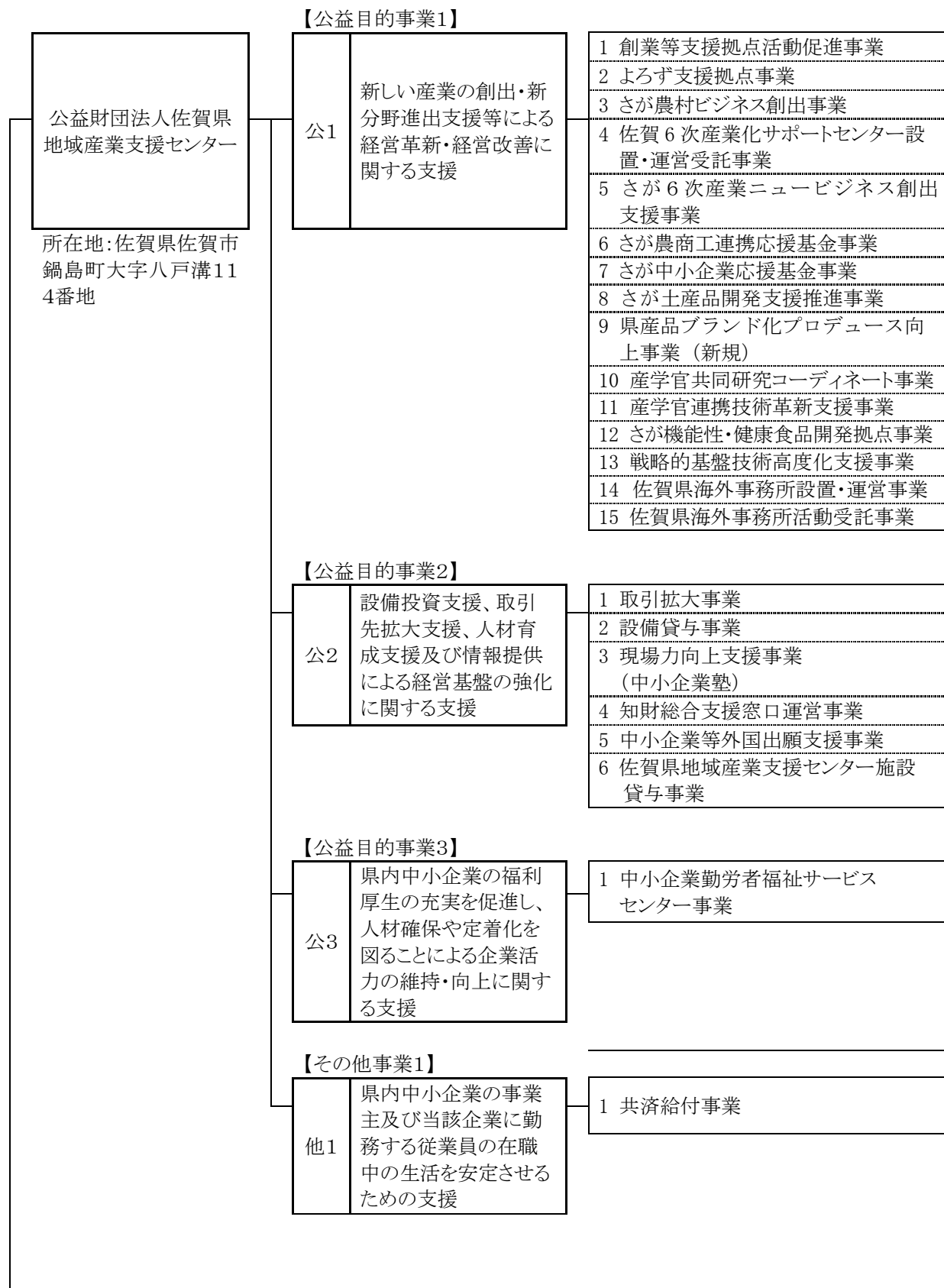
至 平成30年3月31日

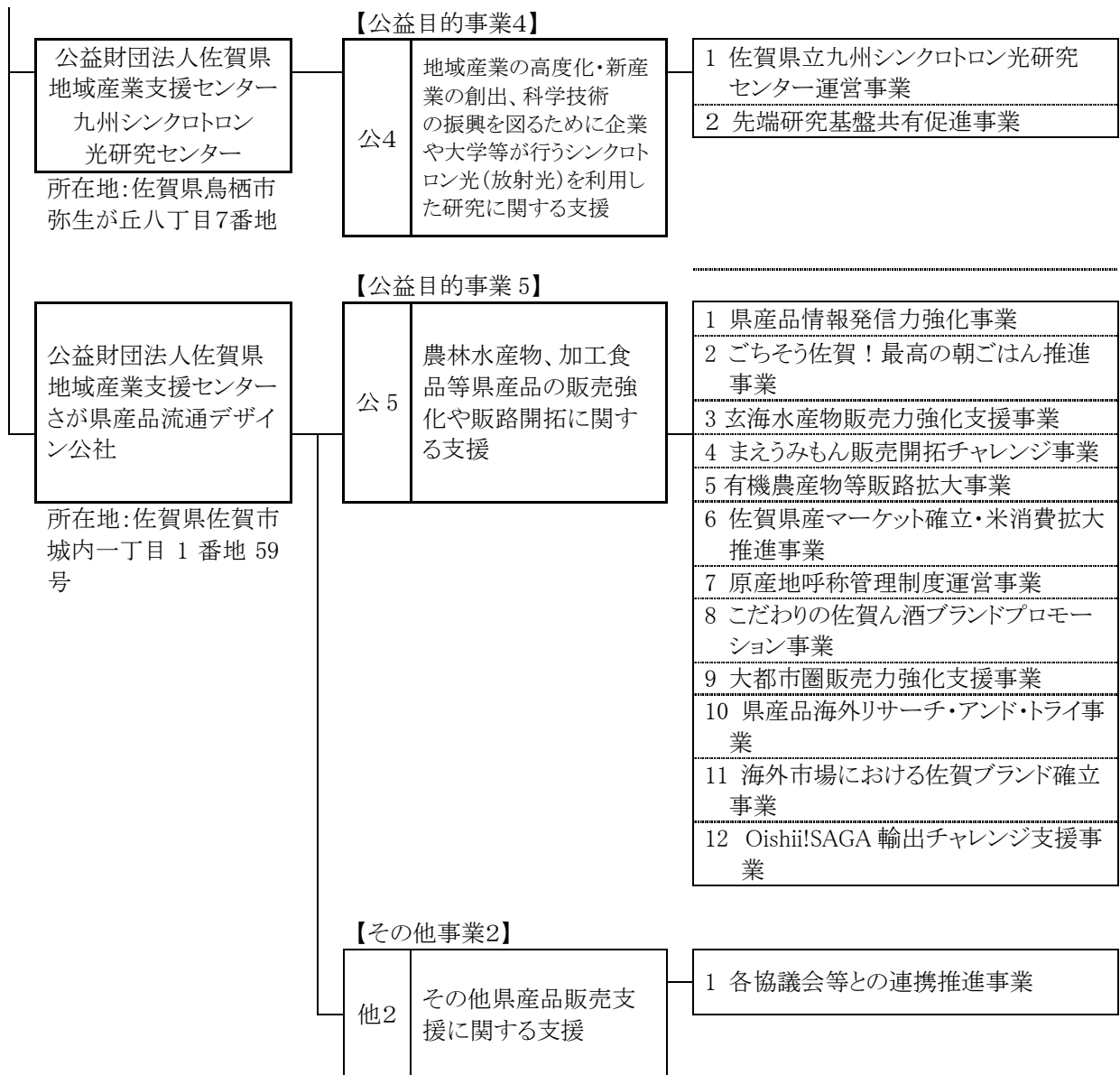
公益財団法人佐賀県地域産業支援センター

# 目 次

第 1	平成 29 年度事業体系.....	1
第 2	平成 29 年度事業報告.....	3
1	新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公 1） .....	3
2	設備投資支援、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公 2） .....	25
3	県内中小企業の福利厚生の充実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援（公 3） .....	31
4	県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他 1） .....	33
5	地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公 4） .....	34
6	農林水産物・加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援（公 5） .....	37
7	その他県産品販売に関する支援（他 2） .....	43
第 3	庶務事項 .....	46

# 第1 平成29年度事業体系





## 第2 平成29年度事業報告

### 1 新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公1）

#### 【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、佐賀県内の経済及び雇用を実質的に支えている中小企業に対し、新しい産業の創出や新分野進出に対する支援、また、経営革新や経営改善に関する支援を行うことを目的としている。

#### 【事業の構成】

本事業は、次の15の事業から構成される。

- 1 創業等支援拠点活動促進事業
- 2 よろず支援拠点事業
- 3 さが農村ビジネス創出事業
- 4 佐賀6次産業化サポートセンター設置・運営受託事業
- 5 さが6次産業ニュービジネス創出支援事業
- 6 さが農商工連携応援基金事業
- 7 さが中小企業応援基金事業
- 8 さが土産品開発支援推進事業
- 9 県産品ブランド化プロデュース向上事業（新規）
- 10 産学官共同研究コーディネート事業
- 11 産学官連携技術革新支援事業
- 12 さが機能性・健康食品開発拠点事業
- 13 戦略的基盤技術高度化支援事業
- 14 佐賀県海外事務所設置・運営事業
- 15 佐賀県海外事務所活動受託事業

#### 【公1個別事業の内容】

##### （1）創業等支援拠点活動促進事業 [23,396,245円：佐賀県補助事業]

《担当部署：経営改善支援課・ものづくり振興課・食品製造業振興課》

県内における創業・ベンチャー・経営革新を促進するため、中小企業者の経営資源の充実・強化及び新事業創出を促進する体制を整備し、支援を行った。

##### ア 支援体制整備事業

経営指導の経験を持つマネージャー（2名）やITコーディネータ（1名）を配置し、創業者、ベンチャー企業、経営革新を目指す企業から様々な経営課題の相談を受け、100社に対し課題解決に向けたビジネスプランブラッシュアップ、アドバイス等の支援を行った。

[主な支援内容及び企業数]

- ・ものづくり企業の経営体質強化・人材育成… 8社
- ・中小企業・農家の経営改善・体質強化… 33社
- ・ICT活用による業務改善… 59社

## イ 専門家派遣事業

意欲的な中小企業者の情報化や経営改善に係る諸施策等に関する課題に応じて、民間の専門家を派遣し、診断・助言を行った。

- 派遣企業数：16社・派遣日数：68日

戦略策定	労務管理	品質管理	経営改善
7社	0社	2社	7社

- ミラサポ事業（中小企業庁事業の派遣窓口として機能）を活用して専門家派遣を実施。 派遣企業数：26社 派遣日数：49日

経営革新	IT活用	創業	地域資源	販路開拓	商品開発	労務管理
2社	19社	1社	0社	3社	1社	0社

## ウ ベンチャー交流ネットワーク事業

ベンチャー企業や起業家・創業希望者等の相互の情報交換及び産学官の各種専門家や近県ベンチャー企業との交流等を通して事業提携、事業協力の機会等を提供した。

### 【開催内容】

- 第1回 平成29年5月17日（水）

- ・総会
- ・経営革新セミナー「創業48年間黒字の健全経営の秘訣と人材育成」  
講師：関文彦氏（株式会社関家具代表取締役社長）
- ・ショートプレゼンテーション
- ・会員企業展示商品紹介

- 第2回 平成29年8月10日（木）

- ・経営革新セミナー「経営も人生もピンチがチャンス!!」  
講師：白水ルリ子氏（株式会社晴天代表取締役）
- ・ショートプレゼンテーション（鳥栖商工会議所）
- ・会員企業展示商品紹介

- 第3回 平成29年11月13日（月）

- ・経営革新セミナー「伝統菓子の真髄・小城羊羹」  
講師：村岡安廣氏（株式会社村岡総本舗代表取締役）
- ・ショートプレゼンテーション（小城商工会議所）
- ・会員企業展示商品紹介

- 第4回 平成30年2月22日（木）

- ・経営革新セミナー「本物のオーガニックで世界へ！」  
講師：山岡俊文氏（株式会社ハート代表取締役）
- ・「さがラボチャレンジカップ 2017」入賞者紹介及びテーマ発表
- ・会員企業展示商品紹介
- さがラボチャレンジカップ 2017
  - ・一次審査：平成 29 年 8 月 10 日（木）～9 月 8 日（金）  
応募総数 22 件のうち上位 9 件を一次審査通過者として選定
  - ・二次審査：平成 29 年 9 月 28 日（木）  
9 企業のプレゼンテーション実施後、受賞対象者を選定  
最優秀賞：オヤモコモ  
優 秀 賞：有限会社忠兼総本社
  - ・表彰状授与式：平成 29 年 10 月 23 日（月）
- 会員企業の展示会出展
  - ・SAGA ものすごフェスタ 2017（H29. 8. 26～27 市村記念体育館）
  - ・さがを創る交流会（H29. 11. 23 佐賀県総合体育館）
  - ・九州・山口ベンチャーマーケット（H30. 2. 6 ホテルオークラ福岡）
- 勉強会
  - ・「佐賀県中小企業塾第 8 回セミナー（現場力向上支援事業）」に参加  
H30. 1. 26
- 関係協議会への参画
  - ・さが地方創生人材育成活用推進協議会への参画
  - ・九州女性起業家応援ネットワーク「LED九州」への参画
- ホームページ活用
  - ・会員の活動状況、各種コンテスト受賞状況やコンテスト・セミナー案内などの情報を提供

## （２）よろず支援拠点事業

[71, 471, 375 円：国委託事業]

《担当部署：経営改善支援課》

中小企業や小規模事業者、創業予定者等の様々な課題に対応するため、国の採択を受け「よろず支援拠点」を当財団内に設置し、事業計画や販路開拓、商品開発、IT利活用、海外展開など幅広い分野の専門家を配置し、課題解決の支援を行った。

## ア 相談内容及び業種

チーフコーディネーター1名、コーディネーター9名を配置し、574社、3,721件の相談に対応した。

### ○相談内容

I T活用	1,345件
デザイン（広告・商品）	517件
施策活用	435件
広報戦略	351件
経営知識	317件
事業計画策定	273件
現場改善	264件
その他	219件
合 計	3,721件

### ○相談者業種

1次産業	農林漁業	173件
2次産業	建設業	126件
	製造業	915件
3次産業	情報通信業	9件
	運輸業	1件
	卸売業・小売業	649件
	サービス業	1,003件
	学術研究、専門・サービス業	6件
	宿泊業・飲食サービス業	387件
	生活関連サービス業、娯楽業	28件
	医療・福祉	341件
	その他	83件
合 計		3,721件

## イ セミナー開催

経営課題解決やよろず支援拠点事業の周知を目的にセミナーを開催した。

### ○セミナー

#### ①平成29年6月29日（木）

佐賀県よろず支援拠点開設3周年記念セミナー

・「よろず支援拠点への期待」

九州経済産業局 中小企業課 課長補佐 三好 登氏

・「伝統は革新の連続～新商品開発と海外市場への展開～」

日吉屋五代目当主 西堀耕太郎氏



②平成 29 年 10 月 27 日（金）

支援機関を対象としたセミナー

「中小企業を救う！東京・板橋モデル」

板橋区立企業活性化センター長 中嶋 修氏

○土曜セミナー

当拠点チーフコーディネーター、コーディネーター及びゲストアドバイザー等によるセミナーを 9 回開催した。

①平成 29 年 5 月 20 日（土）	無料ホームページ作成と SNS マーケティングの基本
②平成 29 年 7 月 15 日（土）	女性起業家のための「お客さまが途切れない」ビジネスの作り方
③平成 29 年 8 月 19 日（土）	今日からできるネットショップ必勝法
④平成 29 年 9 月 16 日（土）	小さな会社でも出来る！成果につなげる“営業の仕組み化”
⑤平成 29 年 11 月 18 日（土）	オッサンでも売れる商品開発の極意
⑥平成 29 年 12 月 16 日（土）	お客様づくりに成功する「販売心理学の 7 つの鍵」
⑦平成 30 年 1 月 20 日（土）	初めての SEO とアクセス解析の活用
⑧平成 30 年 2 月 17 日（土）	IT を活用した生産性向上に向けた取組
⑨平成 30 年 3 月 17 日（土）	女性が輝く会社作りの基本

ウ 出張相談どこでもよろず実施

新たな相談者の発掘やよろず支援拠点事業の周知を目的に、出張相談「どこでもよろず」を実施した。県内 110 カ所の出前先を登録し、コーディネーターが訪問して、18 回（36 件）の相談対応を実施した。

エ サテライト設置

相談者の利便性向上や新たな相談者の発掘を目的に、サテライト相談所を県内 2 カ所（伊万里市、鹿島市）設置し、98 回（552 件）の相談対応を実施した。

**（3）さが農村ビジネス創出事業**

**[24,994,892 円／佐賀県補助金]**

**《担当部署：農村ビジネス振興課》**

中山間地域等の農村への新しい人の流れをつくることにより、農家の所得向上と農村地域の活性化を図るため、当財団内に支援員を配置し、農村ビジネス実施者への支援、地域の農業者等への働きかけ、コーディネートなどを行った。

○農村ビジネスに関する相談

コーディネータ 2 名を配置し、405 件の相談対応をおこなった。

【相談内容】

農村ビジネス(開設・運営)	82 件	21%
体制づくり	86 件	20%
ビジネスプランの企画	66 件	16%
地域コーディネート	42 件	11%
人材育成	39 件	10%
その他	90 件	22%
合計	405 件	100%

【業種別】

行政	122 件	30%
任意団体・NPO等	66 件	16%
農産物直売所等事業者	60 件	15%
農家	40 件	10%
地域おこし・集落支援員	41 件	10%
その他	76 件	19%
合計	405 件	100%

○地域コーディネータ・組織の育成

重点区域（佐賀市・唐津市）を設け、地域おこし協力隊 1 名、集落支援員 1 名を地域コーディネータ候補として、OJT で育成支援。また、道の駅構想実現のための体制づくりへの支援。

- ① ロッジやまびこを中心とした三瀬地域 4 直売所を連携したイベント企画の支援
- ② 唐津市におけるワーキングホリデー等のイベント企画実行支援  
平成 29 年 10 月～11 月 5 回のイベント実施への支援
- ③ (一社)起立工商協会など DMO 候補法人設立支援

○地域コーディネータ・組織の必要性の理解醸成

農業者組織や農村ビジネス実践者ネットワーク等総会等の講師として参加 (13 件)

- ① 平成 29 年 5 月 19 日  
佐賀市グリーンツーリズム実践者研修会  
「農村ビジネスの現状」
- ② 平成 29 年 7 月 15 日  
たのしかネット研修会  
「変わりゆく道の駅・直売所へのニーズ地域内連携の重要」

○農村ビジネスモデル地域の戦略策定

集客の核となる直売所の現状把握のための出口調査を実施

① 平成 29 年 11 月

道の駅太良、道の駅鹿島、道の駅桃山天下市、唐津うまかもん市場の  
4 箇所

② 平成 30 年 1 月～3 月

各直売所における出口調査の結果報告、運営向上施策の提案、協議

○農村ビジネスモデルプランの検討と実施支援

県の補助事業等を活用して、農村ビジネス実践研修者のコーディネート、  
関係業種との連携によるビジネスプランの実践支援

① 平成 29 年 8 月 29 日（火）

「Oyacco de Ohana（親子でお花 ハーバリウム体験）」イベントへの企  
画実行支援。17 組の親子が参加

② 旅行会社等とのマッチングによるビジネスプラン（クラブツーリズム等）  
の実施計画。

成果)

地域コーディネータ独立に向けた旅行業者とのマッチングや農村ビジネス  
推進の拠点となりうる DMO 候補法人の設立支援、また、ビジネスプラ  
ンの実施支援により、農家の所得向上と地域の活性化に貢献できた。

**（４）佐賀 6 次産業化サポートセンター設置・運営受託事業**

**[24, 241, 600 円：佐賀県委託事業]**

**《担当部署：食品製造業振興課》**

農山漁村や地域産業の活性化を図るため、農林漁業者・団体の 6 次産業  
化への取組や、消費者のニーズを反映するマーケットインの視点で農林漁  
業者等と商工業者等が連携する取組に対して支援を行った。

**ア 相談の受付**

- ・農林漁業者等からの相談に応じるため常設の相談窓口を開設
  - ・農林漁業や商工業、流通、経営等の分野の専門家（コーディネータ）  
が、農林漁業者等からの相談対応に加えて、農林漁業者等と商工業者  
等のニーズ・シーズの掘り起しやマッチングを実施
- ⇒ 相談件数 372 件

**イ 専門家派遣の実施**

6 次産業化や多様な業種との連携などを推進するため、加工技術やブ  
ランド化、事業計画策定等の相談内容に応じた専門家の派遣

⇒ 延べ 138 回専門家を派遣

## ウ 研修会・交流会の開催

新たに6次産業化に取り組む意向のある農林漁業者等へ知識・技術習得等の支援や商工業者等との交流会を行った。

### ① 人材育成研修会の開催

・平成29年6月5日

「産地が干される前にぶどうを干しました」

講師：(株)ドリームファーマーズ 代表取締役社長 宮田宗武氏  
取締役副社長 安部元昭氏

### ② 実践研修会・現地見学会の開催

・平成29年11月18日

6次産業化事例現地見学会

九州の食の展示商談会2017inくまもと（グランメッセ熊本）  
道の駅七城メロンドーム（熊本県菊池市）

・平成29年12月13日

「実はすごい。佐賀で生まれた特産品の可能性」

講師：LOCAL&DESIGN 代表 高山美佳氏

・平成30年1月17日

「写真の撮り方教えます」

講師：写真家 水田秀樹氏

・平成30年1月8日

「商談会出展に際してのコツ」

講師：(株)晴耕雨読 代表者 三島一浩氏

### ③ HACCP研修会の開催

・平成29年7月18日

「儲かるための衛生管理 ～HACCP手法で敵を見つけよう～」

講師：サラヤ(株)九州支店 食品衛生サポート部 阿部仁美氏

### ④ 異業種交流会の開催

農林漁業者等と商工業者等とのマッチング機会の創出

・平成30年3月15日

テーマ：OEM（受託加工）事業者等と農林漁業者の情報交換

講演「(株)カンブライト（京都市）におけるOEM事業の取り組み」

(株)カンブライト代表取締役/井上岳詔研究所所長 井上和馬氏

## エ 展示商談会への出展

6次産業化商品の関東・関西地区への販路拡大のため、展示商談会へ出展した。

① アグリフードEXPO東京（平成29年8月23日～24日）8事業者

② アグリフードEXPO大阪（平成30年2月22日～23日）8事業者

(5) さが6次産業ニュービジネス創出支援事業

[164,469,777円：佐賀県補助金]

《担当部署：食品製造業振興課》

地域農林水産物の高付加価値化や新たなビジネス創出を促進し、地域経済の活性化を図るため、6次産業化の取組を行う企業（2次・3次産業事業者）を選定し、加工・販売用施設設備の整備等の実現に向けた支援を行った。

○平成29年度支払対象事業

【平成27年度採択事業】

(単位：円)

事業者	事業計画のテーマ	H29支払額
佐賀冷凍食品(株)	佐賀県産素材がぎゅっと詰まった「冷凍弁当・冷凍総菜」開発による新佐賀ブランドの構築。	① 64,469,777

【平成28年度採択事業】

(単位：円)

事業者	事業計画のテーマ	H29支払額
伊万里アグリファーム(株)	佐賀県初のGAPとHACCPに準拠した農産加工施設で、農産加工の新商品開発と加工製造、販売を行い、佐賀県内や地域の農業の発展と農家所得向上を目的とした、佐賀県初の「農産物の総合加工センター」を構築する事業。	② 100,000,000

○平成29年度採択事業

(単位：円)

事業者	事業計画のテーマ	交付決定額
		H29支払額
(株)ピクルスコーポレーション西日本	浅漬、キムチ、惣菜に係る農産物を、工場所在地(みやき町)近郊の生産者との契約栽培により仕入れを行う。製造した商品については、九州地区を中心としたスーパーマーケット、コンビニエンスストア、コープへの販売を行う。	100,000,000
		③ 0

【平成29年度支払額合計】

①+②+③

16,469,777円

(6) さが農商工連携応援基金事業

[11,654,188円：基金事業]

《担当部署：食品製造業振興課》

県内中小企業と農林漁業者が互いの経営資源を有機的に連携し、農林水産物等を活用した新商品・新技術等の開発の取り組みを支援した。

ア 補助対象者 中小企業者と農林漁業者との連携体

イ さが農商工連携応援基金造成

基金造成額 25.2億円

(うち県借入金 20.1億円、地場金融機関 5.1億円)

ウ 基金果実により以下の事業を補助

○新商品開発等支援事業

新商品の開発、新役務の提供、試作品開発、展示会出展等に要する経費への補助

- ・補助限度額 500万円
- ・補助率 2/3以内
- ・新規採択件数 2件

○平成 29 年度支払対象事業

【平成 28 年度採択事業】

(単位:千円)

事業のテーマ	連携体の構成		役割	H29 支払額
県産もち麦および伊万里茶、パプリカを用いた蒲鉾、天ぷらの開発	中小企業者	(有)池司蒲鉾工場 (伊万里市) 【製造業】	地元産のもち麦、雑穀米を活用した新食感の蒲鉾、竹輪、天ぷらの製造方法や販売方法、販売ルートの確立	2,847
	農林漁業者	フェルマ木須 (伊万里市) 【農業】	もち麦の安定供給	
	農林漁業者	横田茶園 (伊万里市) 【農業】	かまぼこの材料としての茶の加工	
	農林漁業者	(株)アースマインド伊万里 (伊万里市) 【農業】	パプリカの供給	
ブランド椎茸の栽培技術確立並びに加工品の研究開発及び販路開拓	農林漁業者	中山林業 (唐津市) 【林業】	原材料の提供	4,745
	中小企業者	(有)玉喜 (佐賀市) 【卸売業】	地元産乾椎茸を活用した新商品の製造及び販売方法の確立	
平成 28 年度採択分 計				① 7,592

○平成 29 年度採択事業

事業のテーマ	連携体の構成		役割	交付決定額
				H29 支払額
ベースとなる豆乳ジェラートの開発及び豆乳ジェラートと他の食材との組み合わせの研究開発	農林漁業者	山口眞吾 (鹿島市) 【農業】	大豆栽培	5,000
	中小企業者	三原食品(有) (鹿島市) 【製造業】	新種の大豆を活用した豆乳ジェラートの開発とイチゴの規格外を活用したイチゴ豆乳ジェラートの開発及び販売方法の確立	0
アスパラガスの加工品開発計画	農林漁業者	安東 浩太郎 (太良町) 【農業】	今回の研究開発に適したアスパラガスの栽培と製品の評価、販売方法の確立	4,630

事業のテーマ	連携体の構成		役割	交付決定額
				H29 支払額
	中小企業者	(有)サガ・ビネガー (佐賀市) 【製造業】	アスパラガスを活用した酢の製造	0
平成 29 年度採択分 計				9,360
				② 0

【平成 29 年度支払額合計】 ①+② 7,592 千円

## (7) さが中小企業応援基金事業 [14,583,200 円：基金事業]

《担当部署：研究開発振興課》

県内中小企業を対象に新産業分野（新エネルギー、コンテンツビジネス、光触媒）、自動車産業分野、次世代産業分野（化粧品、健康食品、医療）及び県内地域資源（鶏肉、有田焼、製薬、楠、肥前刃物）などの佐賀県が特定する地域資源）を活用した分野において、新製品開発や販路開拓の取り組みに対して支援した。

### ア 新製品開発助成事業

平成 29 年度新規採択件数… 8 件

(助成分野内訳)

新産業（新エネルギー）	3 件
自動車産業	3 件
次世代産業（健康食品）	1 件
地域資源（有田焼）	1 件

### イ 販路開拓助成事業

平成 29 年度新規採択件数… 14 件

(助成分野内訳)

新産業（コンテンツビジネス、光触媒）	2 件
自動車産業	1 件
次世代産業（医療、化粧品）	2 件
地域資源（鶏肉、有田焼、製薬、楠、肥前刃物）	9 件

### ウ 平成 29 年度支払対象事業

【平成 28 年度採択事業】

(単位：千円)

事業区分	助成事業者名	分野	事業計画のテーマ	H29 支払額
新製品開発事業	(株)アイティーンペル	次世代産業	医療現場の負担軽減のための人感センサーシステム「見守りあんしんくん」の開発	5,000
	(有)吉右エ門製陶所	地域資源	樹脂型による開発生産技法の確立	1,056
新製品開発事業 計				6,056

販路開拓事業	(資)光武酒造場	地域資源	第51回スーパーマーケットトレードショー2017	85
	(株)宮本邦製菓	地域資源	第51回スーパーマーケットトレードショー2017	55
	本村製菓(株)	地域資源	第51回スーパーマーケットトレードショー2017	353
	(株)AQUAPASS	自動車産業	第2回名古屋機械要素技術展	841
	(株)STS ライフプロモーション	次世代産業	第83回インターナショナルギフトショー春2017	505
	(株)島内エンジニア	新産業	第3回国際ドローン展	421
	(株)松華堂	地域資源	第45回国際ホテル・レストランショー	726
	(株)陶翔舞千	地域資源	第45回国際ホテル・レストランショー	800
	宮島醤油(株)	地域資源	第51回スーパーマーケットトレードショー2017	210
販路開拓事業 計				3,996
平成28年度採択分合計				① 10,052

【平成29年度採択事業】

事業区分	助成事業者名	分野	事業計画のテーマ	H29 交付決定額
				H29 支払額
新製品開発事業	大栄工業(株)	自動車産業	インライン・オンライン兼用マフ検査機Ⅱ(多軸ロボット仕様)の開発	5,000 0
	GEC バイオ(株)	新産業	新規バイオマス燃料の開発事業	4,897 0
	陶祖李参平窯	地域資源	泉山土「参平土」産業利用の為の研究開発	1,140 0
	日本・バイオ(株)	次世代産業	ケイ素活性による皮膚バリア強化抗アレルギー乳酸菌パウダーの開発	5,000 0
	(株)西村鐵工所	自動車産業	世界初の高性能電気式液体乾燥装置の試作開発	3,720 0
	(株)ルネシス	次世代産業	リチウムイオン電池を低価格にできる「タイヤ電池」技術の更なる高度化	2,461 0



	聖徳ゼロテック(株)	自動車産業	次世代自動車に求められる軟材を無傷で搬送する新型ハイブリッド金型開発	3,380 0
	岩尾磁器工業(株)	次世代産業	セラミック支持体の量産製造技術	4,546 0
	新製品開発事業 計			30,144 0
販路開拓事業	(株)EverFood	地域資源	Restaurant and Bar Show HongKong2017	613 0
	梶謙製磁(有)	地域資源	テーブルウェア・フェスティバル 2017	603 0
	木村情報技術(株)	新産業	ビジネス AI 2017	1,000 1,000
	佐賀県陶磁器卸商業協同組合	地域資源	東京インターナショナルギフトショー 2017 秋	717 717
	西研グラフィックス(株)	自動車産業	2017 国際ロボット展	1,000 1,000
	(株)中島製作所	次世代産業	フードシステムソリューション 2017	1,000 1,000
	(株)中村	地域資源	第84回東京インターナショナルギフトショー秋 2017	509 471
	名尾農園	地域資源	地方銀行フードセレクション 2017 (2017. 11. 9~10)	225 0
	(株)宝山工業	新産業	第4回しんきん合同商談会	39 39
	佐賀製菓(株)	地域資源	2018 ライフサポートフェア	245 0
	(有)忠兼総本社	次世代産業	第8回化粧品開発展	1,000 0
	文山製陶(有)	地域資源	インテリアライフスタイル東京 2018	1,000 0
	(有)金照堂	地域資源	NY NOW 2018	350 0
	吉田刃物(株)	地域資源	インテリアライフスタイル東京 2018	705 0
	販路開拓事業 計			9,006 4,227
平成 29 年度採択分合計			39,150 ② 4,227	

**(8) さが土産品開発支援推進事業** [38,220,689 円：佐賀県委託事業]

《担当部署：経営改善支援課》

佐賀を訪れた人が買いたくなる、人に勧めたくなるような魅力的な土産品の創出を図るため、県内の事業者に対し、土産品の商品開発から流通・販売・情報発信まで一貫した支援を行った。

**ア セミナー開催**

デザインの力で企業や商品をブランディングし、その素晴らしさを消費者に伝え、売上をアップさせる手法を学ぶためのセミナーを実施した。併せて、コンサルティング支援に関する中間報告を実施した。

○開催日時：平成 29 年 5 月 24 日（木）（14:00～16:00）

○開催場所：ホテルマリターレ創世佐賀（佐賀市神野東）

○内 容：さが土産品ブランディングセミナー

“経営とデザインの幸せな関係”

○講師：(株)中川政七商店代表取締役社長 中川淳氏

○ゲスト：堀田カーペット(株)代表取締役社長 堀田将矢氏

合同会社 Yello 佐藤利樹氏、名尾手すき和紙(株)谷口弦氏

○参加者：251名

**イ コンサルティング支援**

企業・商品のブランディング、土産品の商品開発から流通・販売、情報までの一貫したコンサルティングを受ける企業を募集し、選定された事業者に対する支援を行った。

**【28年採択（第1期）】**

○期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日

○コンサルティング実施者：(株)中川政七商店

○コンサルティング支援対象事業者

次の 3 事業者に対し、6 回コンサルティングを実施した。

①名尾手すき和紙(株)（工芸）／佐賀市大和町

②鍋島虎仙窯（工芸）／伊万里市南波多町

③(合資)鶴屋菓子舗（食品）／佐賀市西魚町

○(株)中川政七商店主催の大日本市（平成 30 年 2 月）へ出展した。

**【29年採択（第2期）】**

○期間：平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

○コンサルティング実施者：(株)中川政七商店

○コンサルティング支援対象事業者

次の 3 事業者に対し、6 回コンサルティングを実施した。

①(有)篠原溪山（工芸）／西松浦郡有田町

②川原食品㈱（食品）／佐賀市川副町

③㈱蔵出しめんたい本舗（食品）／鳥栖市藤木町

#### ウ 成果発表会

平成28年度からコンサルティングを受けた第1期事業者が中川政七氏及び担当したデザイナー等と対談し、経緯及び成果を発表した。

○開催日時：平成30年3月27日（木）（14:00～16:00）

○開催場所：ホテルマリターレ創世佐賀（佐賀市神野東）

○進行役：㈱中川政七商店代表取締役会長 中川政七氏

○担当コンサル：㈱メソッド代表取締役 山田遊氏

合同会社 Yello 佐藤利樹氏

THE㈱代表取締役社長 米津雄介氏

○成果発表者：名尾手すき和紙㈱谷口弦氏、鍋島虎仙窯 川副隆彦氏、  
（合資）鶴屋菓子舗 堤一博氏

○参加者：230名

#### (9) 県産品ブランド化プロデュース力向上事業[17,971,235円:佐賀県委託事業]

《担当部署：経営改善支援課》

県内メーカー等の人材について、経営診断・分析から、ブランド構築、商品企画開発、ターゲットに応じた伝え方・情報発信の手法までの全工程を一貫して担うことができるよう、スクール開講により能力向上を図った。

##### 【スクール概要】

①名称：コト・ミチ人材育成スクール

②開催状況：

回	テーマ	開催年月
第1回	会社を診断する	平成29年7月22日
第2回	ブランドをつくる①	平成29年8月19日
第3回	ブランドをつくる②	平成29年9月2日
第4回	商品をつくる	平成29年9月23日
第5回	コミュニケーション・流通を考える	平成29年9月30日
第6回	ふりかえり プレゼン、総評	平成29年10月28日

③受講者数：県内34名、県外2名

④受講者負担金額：県内75,000円、県外150,000円

⑤当スクールにおける成績優秀者には、さが土産品開発支援推進事業における企業コンサルティングの現場に同行し、実践経験の場を提供した。

**(10) 産学官研究コーディネーター事業 [5,627,031円：佐賀県補助事業]**

《担当部署：研究開発振興課》

新技術の開発や新産業の創出を促進するため、県内企業のニーズと大学・公設試等のシーズをマッチングするコーディネーターを配置し、産学官の共同研究等を支援した。

ア コーディネーター活動実績 合計 延べ781件(65社)

**【内容】**

・技術相談	26件
・プロジェクト・補助金相談	406件
・プロジェクト推進	157件
・シーズ及びニーズ調査	22件
・その他	170件

**【業種別内訳】**

・ものづくり	45社
・バイオ	2社
・建設	3社
・情報	3社
・サービス	12社

イ 共同研究の企画・立案(企画提案支援) 合計 23件

・戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)	1件
・佐賀県ものづくり企業活性化支援事業費補助金	1件
・さが中小企業応援基金事業	11件
・基礎研究等助成事業	8件
・第7回ものづくり日本大賞	2件

**(11) 産学官連携技術革新支援事業 [16,019,558円：佐賀県補助事業]**

《担当部署：研究開発振興課、知財支援室》

ア 基礎研究開発助成事業 採択7件 《担当部署：研究開発振興課》

地域特性を活かした県内企業の新製品開発や技術革新を促進するため、新製品・新技術開発に取り組む県内中小企業に対して、医療や健康分野などの国の成長戦略に示された分野等を特定分野、それ以外を一般分野に区分し、基礎研究・応用研究及びそれに続く実証・実用化研究について補助した。

事業名	企業名	共同研究機関	事業計画のテーマ	委託確定額(円)
基礎研究 応用研究	IDS	九州大学	マイクロナノバブルオゾン水のマイクロ波による基礎物性評価とその健康・美容分野への応用開発	1,206,792

4件	(株)バイオテックス	佐賀大学	水平に設置した地中熱交換器の伝熱現象解析のための測定方法の開発	1,548,720
	(株)PAT	佐賀大学	流体を流したコイル状の円管を用いたコロイド粒子の簡便な分析評価(サイズ・形状)技術の開発	1,991,108
	日之出水道機器(株)	九州工業大学	溶接構造物の鋳物一体化による疲労強度向上に関する研究	1,997,044
実証研究 実用化研究  3件	(株)アイティーインペル	佐賀大学	転倒・転落・徘徊防止人感センサー「見守りあんしんくん」による、看護師の負担軽減と患者のストレス軽減の立証	1,709,274
	西研グラフィックス(株)	大阪大学	第2期 漁業協調型 浮体式小型潮流発電の実証研究	994,498
	(株)戸上化成	佐賀大学	頸部未固定あかちゃんを支える補助機能を持った沐浴補助機器の実証・実用化研究開発	1,692,345
合 計				11,139,781

## イ 研究会活動事業

《担当部署：研究開発振興課》

### ○医工連携研究会

新たな成長分野として注目されている医療機器分野への参入を促すため、医療従事者と中小企業者等で構成する「医工連携研究会」を開催し、医療現場が抱える課題・ニーズと企業等の技術シーズのマッチングが進むよう、研究会活動の支援及びセミナーを開催した。

#### ① シンポジウム開催

- ・参加者 : 47名(医療従事者、県内中小企業等)
- ・期日及び場所: 平成30年2月16日 佐賀大学医学部
- ・講演 : 医療機器開発を巡る知財上の諸問題について  
(国立研究開発法人 日本医療研究開発機構)  
医療現場のニーズ発表  
(一般社団法人 佐賀県臨床工学技士会)

#### ② 日本看護研究学会第22回九州・沖縄地方学術集会での試作品展示

- ・展示品 : 赤ちゃん沐浴補助機器(戸上化成)  
転倒・転落・徘徊防止人感センサー  
(アイティーインペル)
- ・期日及び場所: 平成29年11月4日 佐賀大学医学部
- ・見学者 : 70名

ウ 知財ビジネスマッチング支援事業 《担当部署：知財支援室》

特許流通コーディネーターを配置し、県内中小企業への知的財産に関する普及啓発を行うとともに、技術移転等の支援により新技術・新商品開発の推進を図った。

大手企業が保有する「開放特許」を活用して新製品開発や新事業展開等へと繋げるため、知財ビジネスマッチングセミナーを開催して、県内中小企業に対し、大企業の開放特許の紹介や個別面談機会を提供して支援を行った。

(ア) 企業訪問等による支援

- 特許流通コーディネーター1名を配置し、特許流通支援事業、特許等情報提供事業、指導・相談等を行った。
- 支援件数 延べ 341 件

(イ) 知財ビジネスマッチングに係る金融機関向け知財セミナーの開催

- 開催日：平成 29 年 5 月 16 日
- 開催場所：(公財) 佐賀県地域産業支援センター 第一研修室
- 講演内容：「知財を活用した地方創生の事業化モデル」  
特許庁委託事業 事業プロデューサー 近藤 真吾氏
- 参加人員：41 人

(ウ) 知財マッチングセミナーさが 2017 の開催

- 開催日：平成 29 年 10 月 18 日
- 開催場所：グランデはがくれ
- 講演内容：
  - 講演Ⅰ 「鳥取県の知財マッチング支援活動について」  
(公財) 鳥取県産業振興機構 知的所有権センター長  
山本 明良氏
  - 講演Ⅱ 開放特許を活用した新製品開発品の事例紹介  
『見守りあんしんくん』開発への思い  
(株) アイティーインペル 代表取締役 田中 政史氏
  - 講演Ⅲ 「大企業による開放特許技術紹介」  
(一社) NHK エンジニアリングシステム、富士通(株)  
九州電力(株)
- 参加人数：81 人

(エ) 大企業と県内企業との個別面談会の開催

- 上記セミナーと並行して、(一社) NHK エンジニアリングシステム、富士通(株)、九州電力(株)との個別面談会を実施。
- 参加企業：13 社

(オ) 特許流通支援により技術移転実施許諾契約等 6 件の成約に繋げることができた。

- 実施許諾契約 2件 ((有) みぞがみ陶器、(有) 吉田陶芸)
- 実施許諾前契約 4件 ((株)創新 (2件)、(有) 谷田建設、(株)福岡建設)

## (12) さが機能性・健康食品開発拠点事業 [43,985,390円 : 佐賀県補助事業]

《担当部署 : 食品製造業振興課》

県内において、付加価値の高い新産業（機能性食品・化粧品分野）の創出・集積を図るため、県内中小企業等が行う新製品・新技術開発を支援した。また、3名の新産業創出研究員により、基盤的な研究開発や企業からの依頼分析等を行った。

### ア コーディネート事業

2名のコーディネーターにより、企業ニーズの掘り起し、研究者シーズとのマッチング、共同研究支援から新商品企画までつながるコーディネート活動事業を行った。

- ・企業訪問等 532件、相談57件（技術、補助金等の相談）
- ・研究開発プロジェクトの企画支援 21件（うち採択6件）

### イ 情報提供活動

事業普及シンポジウム等の開催 3回（延べ129名が参加）

①平成29年7月31日

キックオフセミナー「～食と健康そして美～」

「食品から健康と美を考える～保健機能食品の最近の動向～」

講師：花王(株)ヘルスケア食品研究所 所長 桂木能久氏

②平成29年11月21日

セミナー「『海藻』と『水草』の“チカラ”」

「北方圏海藻の食品利用を目指した基礎研究」

講師：北海道大学大学院水産科学研究科 教授 細川雅史氏

③平成30年3月4日

シンポジウム

「『植物油脂の世界』～調味油からチョコレート油脂まで～」

講師：大東カカオ(株) 取締役執行役員 青山敏明氏

### ウ 新規共同研究等

「アカモクフコイダン抽出物とトンガ産モズクフコイダン抽出物の比較と白美茸併用時の効果の検討」

(農業生産法人グレイスファーム(株)/さが機能性健康食品開発拠点)

### エ トライアルユース補助事業

県内中小企業等が「さが機能性・健康食品開発拠点」等を利用し、機能性・健康食品の開発に取り組みやすくなるよう、初期段階の研究に係る経費の一部を補助した。

① 佐賀県武雄市の太へちまの根・花・実の新規活用のための成分分析

- ・事業者名：へちまや群生舎
- ・確定額：356,000円
- ・補助期間：平成29年9月27日から平成30年2月28日まで
- ・研究概要

へちまの根のデンプン精製及び成分分析を行った。根・実・花のミネラル含量、抗炎症作用、ポリフェノール、総アミノ酸、葉酸の含量を佐賀県工業技術センター食品工業部の分析機器を使い、新産業創出研究員が測定した。

② イヌリンを含有する「キクイモ味噌」の開発

- ・事業者名：丸秀醤油（株）
- ・確定額：102,000円
- ・補助期間：平成29年9月27日から平成30年2月28日まで
- ・研究概要

栄養価の高さから近年佐賀県内でも栽培が活発化されている「キクイモ」を麴と一緒に味噌に仕込み、キクイモに含まれる多糖類のイヌリンをより手軽に摂取できる味噌を開発する。

オ 農林水産物・食品等の機能性研究に係る予備的研究等助成事業

大学等研究機関に地域資源の機能性等に関する予備的研究を助成した。

- ・研究者：佐賀大学農学部 野間誠司准教授
- ・テーマ：「加圧二酸化炭素環境を利用した減塩ワラスボ調味エキスの作製」
- ・助成額：968,604円
- ・助成期間：平成29年10月3日から平成30年2月28日まで

カ 機能性表示食品届出支援事業

県内事業者による消費者庁への機能性表示食品届出に係る必要な経費の一部を補助した。

- ・商品名：「GABA入り雑穀米」※平成30年5月15日現在届出手続中
- ・事業者名：(株)種商
- ・確定額：システムティックレビュー作成 750,000円  
届出書類作成費用 300,000円

キ 商品化・事業化

事業者名	商品名	販売開始時期
えがちゃん農園	はねにんにくオイル 90g	平成29年5月
(有)井手食品	れんこん味噌	平成29年8月
へちまや群生舎	へちま水 「せの」	平成30年1月



**(13) 戦略的基盤技術高度化支援事業 [21,981,397円：国・補助事業]**

《担当部署：研究開発振興課》

国の競争的資金である当該事業に対し、新製品・新技術を志向する県内中小企業等からの申請、共同研究体制の構築等への支援を行ない、採択後の研究開発の推進及び事業管理を行い、研究の製品化から事業化支援までの一貫支援を行った。

**【支援事業】**

地盤改良工事での安心安全な改良杭施工のための比抵抗計測技術を用いた着底・混合判断システムの研究開発

○事業期間：平成28年度～平成30年度（3年間）

○総事業費（予定）：71,836千円（国補助金）

○実施体制：

- ・事業管理者（公財）佐賀県地域産業支援センター
- ・研究実施者（株）ワイビーエム、（株）ワイシステムサポート、（国法）九州大学、（国法）佐賀大学

**ア 事業概要**

目に見えない地盤の工事において、杭が既定の支持層まで到達したかを把握することが難しい。

そこで、杭が既定の支持層まで到達したかの「着底判断」と、改良杭を作る際に、セメントと土の混合状態を確認する「混合判断」の課題に対して、工事中、リアルタイムに判断を行うことが可能となるシステムを研究開発する。従来技術と比較して信頼性が高く、コストや時間がかからない新システムの事業化を目指す。

**イ 研究成果**

比抵抗計測ユニット（共回り防止翼供、計測基板）の製作及び試験を実施。地盤の比抵抗を計測し、着底用と混合判断用の2種類の比抵抗を計測した。共回り防止翼から地上受信装置への伝送を行うための送信基板、受信基板、最適な周波数を検討し、伝送距離30mを達成した。

**(14) 佐賀県海外事務所設置・運営事業 [24,870,472円：佐賀県補助事業]**

《担当部署：総務企画課》

国際化推進のために、佐賀県と連携して香港に設置した海外事務所の活動及び管理運営を行った。

これにより、県内中小企業の海外展開の支援が実現できた。

**ア 海外事務所所在地**

- ・香港事務所（香港セントラル地区）

## イ 海外事務所の主な活動

- (ア) 中国を中心に東南アジア諸国における情報収集、情報提供  
中国を中心とした東南アジアのタイムリーな情報を現地で収集し、  
随時関係企業等へ情報を提供した。
- (イ) 県内中小企業等に対する相談支援  
県内中小企業等からの相談について、現地の事情などを踏まえた  
助言を行った。

### (15) 佐賀県海外事務所活動受託事業 [9,917,486円：佐賀県受託事業]

《担当部署：総務企画課》

佐賀県と連携して香港に設置した海外事務所において、県内産業の発展に資する様々な国際関連の取組を、佐賀県から受託し最前線（現地）で実施した。

#### ア 企業取引支援

見本市等への出展、県内企業による現地活動支援などを行った。

#### イ 県産品の輸出促進・販路開拓

有田焼等の焼物、工業製品、加工食品などの県産品について、現地百貨店バイヤーや輸入業者等、さらには消費者に対するPR活動を行った。

#### ウ 外国人観光客の誘致

現地旅行会社への営業活動、旅行会社やメディアとタイアップした観光客の誘致活動などを行った。

#### エ 現地関係機関等からの情報収集及び収集した情報の提供

現地の政府機関や民間機関、加えて日系企業や日本人などから、県内企業等からのニーズをふまえて様々な現地情報を収集し、随時提供した。

## 2 設備投資支援、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公2）

### 【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、設備投資、取引先拡大、人材育成及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援を行うことを目的としている。

### 【事業の構成】

本事業は、次の事業から構成される。

- (1) 取引拡大事業
- (2) 設備貸与事業
- (3) 現場力向上支援事業
- (4) 知財総合支援窓口運営事業
- (5) 中小企業等外国出願支援事業
- (6) 佐賀県地域産業支援センター施設貸与事業

### 【公2個別事業の内容】

#### (1) 取引拡大事業

[10,661,741円：佐賀県補助事業]

《担当部署：ものづくり支援課》

県内機械金属製造業・自動車関連企業を中心とした下請中小企業に対する受発注取引のあっせんを行った。また、受注機会の拡大、新規取引先の拡大のため、見本市等への製品・加工技術の展示の支援や当財団単独又は九州地区各支援機関等と共同して商談会を開催し、取引の拡大を支援した。

#### ア 取引あっせん状況

登録企業数		申出件数		あっせん 件数	取引成立 件数	当初成立金額 (千円)
発注	受注	発注	受注			
262 (0) ※	712 (4) ※	217	370	382	52	100,848

※ ( ) 内は、平成29年度の新規登録企業数

イ 平成30年版登録企業名簿の発行 1,000部

ウ 発注開拓調査 年2回（九州合同）

#### エ 展示会・商談会の開催

(ア) 展示会出展支援 3回（出展企業14社）

- ・「第21回機械要素技術展」 (平成29年6月、東京都江東区)
- ・「中小企業テクノフェア in 九州2017」 (平成29年10月、北九州市)
- ・「モノづくりフェア2017」 (平成29年10月、福岡市)

- (イ) 商談会開催・参加支援 9回 (県内参加企業 延べ110社)
- ・「製造技術マッチングフェア」 (平成29年6月、北九州市)
  - ・「佐賀・長崎2県合同取引拡大展示商談会  
in ダイハツ九州(株)中津工場 (平成29年9月、中津市)
  - ・「九州自動車部品現調化促進商談会」 (平成29年10月、福岡市)
  - ・「九州自動車電子電装部品・技術提案商談会」  
(平成29年10月、福岡市)
  - ・「第1回佐賀県受発注商談会」 (平成29年11月、佐賀市)
  - ・「九州7県合同広域商談会」 (平成29年11月、神戸市)
  - ・「久留米広域商談会」 (平成30年1月、久留米市)
  - ・「九州新技術・新工法展示商談会in マツダ」  
(平成30年1月、広島県安芸郡)
  - ・「第2回佐賀県受発注商談会」 (平成30年3月、佐賀市)

**オ 下請かけこみ寺事業**

下請取引に関する様々な問題を抱える県内中小企業者等の相談に応じ、問題解決に向けてのアドバイス等の支援を行うとともに、「下請振興法」、「下請代金等遅延防止法」等の周知や、「下請かけこみ寺事業」の周知活動を行った。

- ・相談件数 13件 (延べ13回 うち無料弁護士相談3回)

**(2) 設備貸与事業 [41,868,524円：佐賀県貸付金事業、自主事業]**  
《担当部署：取引振興課》

創業及び経営基盤の強化に必要な設備について、当公益財団が設備を購入し、県内小規模企業者等に対して、貸与（割賦・リース）を行った。

○業種別貸与状況（2企業：割賦額 16,350千円）

業 種	割賦		リース	
	企業数	金額(千円)	企業数	金額(千円)
製造業（切削加工業）	1	12,390	—	—
小売業（菓子・パン小売業）	1	3,960	—	—
合 計	2	16,350	—	—

### (3) 現場力向上支援事業

[23,588,000円：佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

県内中小企業の現場力向上や生産性の向上等を目的に、4名のトレーナー（専門員）が企業を訪問し、現場改善に対する実地の支援や、県内中小企業全体の底上げのため、専門的なセミナーの開催や先進企業の工場見学、更に、経営安定のため新規取引先のマッチング活動支援を行った。

マッチング活動を除き、「佐賀県中小企業塾」として実施した。

#### 《活動成果の概要》

##### ① 4名のトレーナー（専門員）による支援先17社、1グループの支援

	支 援 先	支 援 内 容
1	A社（プレス加工）	2S活動、品質不良の低減活動
2	B社（切削加工）	2S活動
3	C社（板金加工）	2S活動
4	D社（プレス加工）	2S、QC活動
5	E社（板金加工）	2S、QC活動
6	F社（プレス加工）	QC活動
7	G社（プレス加工）	QC活動
8	H社（切削加工）	原価低減活動、品質不良の低減活動
9	I社（産業用機械メーカー）	ISO9001 2015年版移行支援
10	J社（電機機器メーカー）	社員へのISO9001教育
11	K社（樹脂加工）	ISO9001 2015年版移行支援
12	〃 〃	生産性向上支援
13	L社（塗装加工）	ISO9001 2015年版移行支援
14	M社（自動機設計・製作）	5S活動
15	N社（木材加工）	5S活動
16	O社（機械商社）	生産性の見える化
17	P社（梱包資材加工）	生産性の見える化
18	MZプラットフォーム勉強会	MZプラットフォーム導入を目指し勉強会開催

##### ② 「現場力向上」のために実施したセミナー、工場見学

###### ◆セミナー

	テ ー マ	講 師	内 容	参加者
1	ISOセミナー H29.5.25	当財団 専門員	ISO9001規格改定の背景などを学ぶ。	47名
2	現場改善セミナー H29.7.26	W・P・A	徹底したムダ排除による現場改善手法を学ぶ。	70名

3	治具セミナー H29. 9. 6	イマオコーポレーション	工作機械担当者のための治具改善などを学ぶ。	51名
4	経営セミナー H29. 10. 4	当財団 専門員 太平プレテック 八雲製作所	生産性向上の重要性、経営体質強化の重要性を支援企業の事例により学ぶ。	77名
5	精密測定セミナー H29. 10. 6	ミットヨ	マイクロメータ、ノギスなど測定の基礎を学ぶ。	69名
6	表面処理セミナー H29. 11. 17	田口電機工業	表面処理の目的・分類など基礎知識を学ぶ。	54名
7	なぜなぜ分析セミナー H29. 12. 6	クオリゲート	プロセス改善のためのなぜなぜ分析手法を学ぶ。	54名

#### ◆工場見学

	見 学 企 業	内 容	参加者
1	エイチ・ピー熊本プロダクツ H29. 9. 26 熊本県荒尾市	実のみ供給、見える化ラインレイアウト、自工程完結型ライン、セット供給ライン化導入により生産性向上・省スペース化を実現。その手法を学ぶ。	33名
	九州電化 H29. 9. 26 福岡県福岡市	トヨタ自動車の改善指導により「ムダ」「ムリ」「ムラ」の撲滅を推進。その手法を学ぶ。	
2	(株)熊防メタル H30. 3. 14 熊本県熊本市	熊本地震を契機にBCP対策に取り組む。BCP策定の目的・訓練方法などを学ぶ。	29名
	アイシン九州(株) H30. 3. 14 熊本県熊本市	熊本地震前からBCP対策を取りまとめ。工場は大規模な被害がありながら、BCPに基づいた行動で、わずか4ヶ月で復旧。その運用手法を学ぶ。	

#### ③2名のトレーナー（専門員）によるマッチング活動12件の新規受注案件

	発注企業	受注企業	内 容	金額（千円）
1	A社	B社（板金加工）	SUSカバー	262
2	A社	B社（板金加工）	ドライエッジ板金部品	215
3	C社	B社（板金加工）	板金部品	85
4	C社	D社（切削加工）	切削加工部品	31
5	E社	F社（梱包資材）	ポリウレタ梱包箱	219
6	G社	H社（切削加工）	切削加工部品	12
7	F社	I社（プレス加工）	ポリウレタ切削加工	63
8	J社	F社（梱包資材）	ポリウレタ配膳マット	264

9	K社	L社（製缶加工）	SPS台車製作	800
10	K社	M社（自動機製作）	組み付け治具改造	1,200
11	N社	B社（金型加工）	プレス金型	9,000
12	O社	P社（板金加工）	研磨工程クーラントタンク改造	120
	合計			12,271

**（４）知財総合支援窓口運営事業 [32,858,381円：国機関等からの請負事業]**

《担当部署：知財支援室》

中小企業等の知的財産に関する課題等の相談を受け付ける「知財総合支援窓口」において、商工団体、金融機関等との連携のもと、窓口支援担当が知財専門家（弁理士等）と協働するなどして、特許等の取得や活用に関する支援を行った。

○窓口支援担当者4名、事業責任者1名、副責任者1名、事務担当者1名 業務担当者1名

○支援件数 延べ2,319件

知財トータルサポーターによる支援

- ・窓口での支援（地域産業支援センター内での支援） 1,186件
- ・訪問による支援（企業等での支援） 633件
- ・専門家（弁理士、弁護士等）を活用した支援 500件

○知財区分別（重複支援－2,503件）

商標 1,319件(53%)、特許 775件(31%)、実用新案 81件(3%)、意匠 165件(7%)、その他 163件(6%)

○相談者種別（2,319件）

中小企業 1,399件(60%)、個人事業主 592件(26%)、個人 87件(4%)、その他 241件(10%)

○業種別（2,319件）

製造業 976件(42%)、農林水産業 386件(17%)、卸・小売業 283件(12%)、その他 674件(29%)

**（５）中小企業外国出願支援事業 [2,829,000円：国補助事業]**

《担当部署：知財支援室》

外国への事業展開等を計画している県内中小企業の特許等外国出願に対して支援を行った。

○支援件数 7企業（特許1件・商標10件）

○補助割合 出願に要する経費（出願料、代理人費用、翻訳料等）の1/2以内

○補助限度額 1出願につき、特許150万円、意匠・商標等60万円など。（最大で1企業300万円まで）

支援企業名	出願内容	出願件数	補助金額（円）
文山製陶(有)	商標出願	2 件	395,000
光武製菓(株)	商標出願	3 件	141,000
(株)アクアグループ	商標出願	2 件	380,000
シエイタルテック(株)	特許出願	1 件	1,500,000
(株)まるきん	商標出願	1 件	55,000
(株)アルフデザイン	商標出願	1 件	228,000
(株)賞美堂本店	商標出願	1 件	130,000
計 7 企業		計 11 件	2,829,000

**(6) 佐賀県地域産業支援センター施設貸与事業 [7,591,262 円：佐賀県受託事業]**

《担当部署：総務企画課》

佐賀県地域産業支援センターの指定管理者として、設置目的である技術の高度化、経営の効率化等企業の事業活動に対する支援に資するため、経費節減や利用者の満足度向上等に配慮しながら、管理運営を行った。

**ア 研修室貸出**

- ・第 1 研修室利用承認件数 1 3 7 件
- ・第 2 研修室利用承認件数 1 2 0 件
- 計 2 5 7 件

**イ 研究開発室貸出**

- ・入居審査会開催件数 0 件
- ・入居貸出件数（年度末時点） 3 件

**ウ ビデオ貸出**

- ・ビデオ貸出 5 6 巻



### 3 県内中小企業の福利厚生充実を促進し、人材確保や定着化を図るとともに従業員の健康増進に関する支援（公3）

#### 【事業の趣旨】

県内中小企業の人材確保や定着を図るとともに、従業員の健康増進等に資するため、中小企業単独では実施が困難な福利厚生事業について、そのスケールメリットを生かして、県内中小企業の福利厚生充実を促進し、健康増進、自己啓発、余暇活動等総合的な福祉サービスを提供する。

なお、事業の実施に当たっては、効率的な事業運営のために、「会員」制度を採用し、一定額の運営負担金と会費の納入によりサービスを提供している。

#### 【公3個別事業の内容】

##### （1）中小企業勤労者福祉サービスセンター事業

[32,861,479円：受取会費、佐賀県・県内市町・事業所負担金]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

##### ア 健康増進事業

会員の健康を増進するため、人間ドック・脳ドック・一般健診にかかる費用等に助成を行った。

特に、全国的に猛威をふるったインフルエンザ予防接種の助成は、前年度を上回る助成を行った。

助成者数 1,072人

##### イ 自己啓発事業

会員の自己啓発を支援するため、自己啓発にかかる費用等に助成を行った。

また、各施設を訪問し、サービスセンターの事業内容等を説明し、自己啓発事業を積極的に活動していることのPR活動を行った。

助成者数 1人（カルチャーセンター受講料）

##### ウ 余暇活動事業

会員等の余暇活動を支援するため、宿泊施設やレジャー施設等の余暇活動にかかる費用等に助成を行った。

##### エ その他事業

野球観戦や食事券等の格安価格での販売、旅行割引等を行った。

利用人数および助成額共に、前年度を上回ることができ、徐々に会員に浸透していることの確認をすることができた。

前年度利用人数は 5,350 人助成額は 8,290 千円に対し実績が 5,613 人  
助成額は 8,895 千円であった。

利用人数 263 人増 助成額 605 千円増

#### 4 県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他1）

【他1個別事業の内容】

（1）共済給付事業

[7,079,685円：受取会費]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

会員である、県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活安定を図るため、（一財）全国勤労者福祉・共済振興協会（以下「協会」という。）の共済制度を活用し、会員への各種慶弔給付を行った。

## 5 地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公4）

《担当部署：九州シンクロトロン光研究センター》

### 【事業の趣旨】

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター（以下「研究センター」という。）の指定管理者として施設を運営し、企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究支援を行うことにより、地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与することを目的とする。

### 【公4個別事業の内容】

#### （1）佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター運営事業

[546, 214, 434 円：佐賀県委託事業]

#### ア 施設貸与・利用支援

「地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する」ため、実験研究施設・設備を用いた利用支援を通じて、企業、大学、公的研究機関が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究開発への支援を行った。

企業や大学等の利用に供する県有ビームラインについて、利用者に対して支援を行う他、測定装置の充実等によって利用環境を拡充するとともに、企業や大学の若手研究者を対象としたセミナーを開催するなど、利用促進を図った。併せて、他機関ビームラインについても各種の支援を行い、利用促進を図った。

このことにより、県有ビームラインの利用実績は、156件 3,259時間となった。

○利用内訳 企業 66件、大学 78件、公設試 12件

#### ○利用種別

種別	件数	時間数
素材・原料	48	978.50
エネルギー	12	274.00
資源・環境	22	426.50
電子デバイス	48	980.50
ディスプレイ	8	239.00
農林水産・食品	6	97.50
ハバイオメディカル・健康	2	53.50
微細加工	5	47.50
その他	5	162.00
合計	156	3,259.00

## イ シンクロトロン光の研究・普及

「地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する」ため、シンクロトロン光（放射光）の光源とその利用に関する研究開発を行い、利用支援の展開につなげた。

具体的には、光源加速器やビームライン設備の性能向上や測定技術開発等のための試験研究、産学官の各機関との共同研究、科学研究費補助金等の競争的外部資金を用いた研究を行った。

また、研究成果を利用支援につなげるとともに、研究成果報告会、ホームページ、論文及び学会等での発表を通じて積極的に発信した。

さらに、研究スタッフの研修や技術交流の面でも、関係施設との連携を図った。

### ○シンポジウム・学会等

- ・第11回九州シンクロトロン光研究センター研究成果報告会  
(科学技術振興機構 東京本部 参加者 98名)
- ・第31回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム参加  
(つくば国際会議場)

## ウ 情報発信等

施設の一般公開、学校見学、各種展示会への出展等を通じて、施設の紹介や最先端の科学技術の紹介を行った。

また、インターンシップや職場体験を受け入れ、未来を担う若者の就業体験を支援した。

### ○利用普及・広報、施設見学等

- ・一般公開 (参加者 269名)
- ・施設見学 (参加者 405名)
- ・平成29年度地域戦略利用意見交換会 (県内公設試 参加者 11名)
- ・サマースクール2017 (大学院・企業等の若手研究者 参加者 9名)
- ・企業利用支援セミナー (県内企業 参加者 30名)
- ・平成29年度九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー 出展
- ・nano tech 2018 出展
- ・SAGAものスゴフェスタ2017 出展 (参加者 350名)
- ・産業技術総合研究所九州センター一般公開 出展 (参加者 143名)
- ・Web Magazine 発行 (2回)
- ・インターンシップの受入 (久留米高専: 1名・鳥栖商業高校: 1名)、  
職場体験の受入 (鳥栖西中学校: 3名)

## (2) 先端研究基盤共用促進事業

[1,635,000円：文部科学省委託事業]

大学、独立行政法人等の研究機関等が有する先端研究施設（シンクロトロン放射光施設6機関とレーザー施設2機関）で構成される「光ビームプラットフォーム」に参画し、全国的な視野で利用情報の発信、共通技術の開発、人材交流等を行い、利用者の利便性向上や裾野の拡大に取り組んだ。

- 光ビームプラットフォーム運営体制の構築  
    広報活動等（光ビームプラットフォームのホームページ運営）への協力
- 各施設による利用支援  
    研究成果報告会及び nano tech 2019 での利用事例の紹介など
- ワンストップサービスの設置・運営  
    積極的な他機関の斡旋紹介
- 人材育成  
    光ビームプラットフォームシンポジウム 2018 の参加 など
- ノウハウ・データの蓄積・共有、利用システムの標準化、技術の高度化に向けた利用支援  
    標準試料のデータ収集実験への参加 など

## 6 流通販売推進体制の整備による農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援事業（公5）

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

### 【事業の趣旨】

地域産業の振興を図るため、県産品（農林水産物、加工食品等）を扱う県内中小・零細事業者等を支援して県産品の販売促進を行うことを目的としている。

### 【事業の構成】

#### 【公5個別事業の内容】

本事業は次の事業から構成される。

- 1 県産品情報発信力強化事業
- 2 ごちそう佐賀！最高の朝ごはん推進事業
- 3 玄海水産物販売力強化支援事業
- 4 まえうみもん販路開拓チャレンジ事業
- 5 有機農産物等販路拡大事業
- 6 佐賀産米マーケット確立・米消費拡大推進事業
- 7 原産地呼称管理制度運営事業
- 8 こだわりの佐賀ん酒ブランドプロモーション事業
- 9 大都市圏販売強化支援事業
- 10 県産品海外リサーチ・アンド・トライ事業
- 11 海外市場における佐賀ブランド確立事業
- 12 Oishii!SAGA 輸出チャレンジ支援事業

#### （1） 県産品情報発信力強化事業 [11,689,028円／佐賀県補助事業]

佐賀県が誇る「佐賀牛®」「佐賀海苔®有明海一番」などのトップブランドを始め、高品質な県産品の魅力を発信することにより、県産品の知名度と評価の向上を図った。

ア メディア露出獲得に向けたメディアプロモーションを実施した結果、テレビ2番組、雑誌3誌、WEB124件の露出（広告換算額2億4,815万5千円）を獲得した。

イ 県産品ホームページ『美食通信「ごちそう佐賀」』を活用した情報発信を実施した結果、年間15万5,095件のアクセス数を獲得した。

#### （2） ごちそう佐賀！最高の朝ごはん推進事業

[38,270,926円／佐賀県補助事業]

県産米や佐賀海苔等の質の高い県産品を、素材感が伝わりやすい「朝ごはん」をキーワードに広く訴求していくことで、県産品の販売促進を図った。

ア 消費者が信用・信頼できる情報コンテンツを、広く伝えて興味を持ってもらう

○Youtube 動画第 2 弾「あさご藩 おかわり」の制作及び公開（平成 29 年 9 月 5 日）。

○県産品を使った朝ごはんのレシピコンテストの実施（佐賀県内応募開始～授賞式まで：平成 29 年 8 月 1 日～10 月 21 日）。

○女流作家二人（車浮代さん、いつかさん）による情報発信（3 月取材）

イ 興味を持ったコンテンツを味わうことができる場所・機会をつくる

○「食博覧会・大阪」に出展し、「最高の朝ごはん冬メニュー」を 1 万食提供（平成 29 年 4 月 28 日～5 月 7 日）。

○佐賀インターナショナルバルーンフェスタにて「最高の朝ごはん冬メニュー」を 200 食提供（平成 29 年 11 月 5 日）。

○海苔込みチラシ（海苔にカルシウムを使って、各イベント等にちなんだキャッチコピーをプリントしたもの）の配布

・平成 29 年 11 月 18 日 サガン鳥栖 vs FC 東京戦 1,000 枚

・平成 29 年 12 月 12～13 日 リトルママフェスタ 5,000 枚

・平成 30 年 1 月 13 日 センター試験 1,000 枚

・平成 30 年 1 月 18～30 日 早稲田大学 5,000 枚

合計 1 万 2,000 枚

○佐賀市内飲食店における最高の朝ごはん冬メニューの提供（平成 30 年 2 月 23～27 日）

○企業・団体への朝ご飯ケータリング（東京都 株式会社 ファクトリエ 平成 30 年 3 月 26 日）

### **（3）玄海水産物販売力強化支援事業 [131,675 円／佐賀県補助事業]**

玄海地区水産物の積極的なセールスプロモーション活動等によって、玄海水産物のブランド力を向上させ、新たな販路開拓を図った。

ア 東京・福岡等の都市圏における PR

○首都圏の飲食店を中心とした販路拡大のため、「お試し朝獲れパック」のチラシを作製し、配布した。

○水産物サンプルを都内飲食店及び大手回転寿司チェーン店に提供し、そのことをきっかけに、県内事業者との商談が成立した。

イ 「唐津お魚まつり」等の地元での PR 活動

○平成 29 年 10 月 22 日に「唐津お魚まつり」を開催し、他機関と連携し、玄海水産物の PR を行った。

### **（4）まえうみもん販路開拓チャレンジ事業[2,088,532 円／佐賀県補助事業]**

まえうみもん（有明海産魚介類）の質の高さや美味しい食べ方等を PR し、消費拡大と認知向上を図るとともに、新たな販路開拓チャレンジへの支援を実施した。



- ア まえうみもんのPR、情報発信  
まえうみもんのPR用として、投網漁の写真や動画等を作製した。
- イ まえうみもんの新たな販路拡大
  - 平成30年3月21日に「太良町まえうみもん試食会」を初めて開催し、まえうみもんの特徴の説明、投網漁PR動画の放映及びまえうみもん写真及び魚体の展示、試食及び商談を実施した。
  - 情報発信力のある作家やバイヤー（大手回転寿司チェーン等）、太良町内の旅館や飲食店、マスコミ（5社）、関係者合わせ45名が参加。

**（5）有機農産物等販路拡大事業 [691,346円／佐賀県補助事業]**

- 県産の有機・特別栽培農産物やエコ農産物、地域特産農産物等の認知度向上及び販路拡大を図った。
- ア 県内生産者情報の収集・マッチングへの活用  
随時、担当者が生産者へ出向き、情報を収集した。
  - イ 県内生産者と仕入れ担当者等とのマッチングのための商談会の開催  
有機農産物等を生産する28事業者が参加し、17件の新規契約を獲得した。
  - ウ オーガニック・エコ農産物等の認知度向上のためのPR販売会の開催  
毎年来場者が80万人を超えるイベントである「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」会場の「うまいもん市場」内に流通デザイン公社ブースを設置し、販売会を実施した。有機農産物等を生産する事業者22事業者が出店した。

**（6）佐賀産米マーケット確立・米消費拡大推進事業**

**[247,388円／佐賀県補助事業]**

- 「さがびより」を核とした佐賀県産米・麦・大豆の認知度向上及び販路拡大、消費拡大を図った。
- ア イオン九州佐賀フェアにて「さがびより」のサンプリングを実施
  - イ ロアラブッシュ佐賀フェア小城特集にて「さがびより」のサンプリングを実施

**（7）原産地呼称管理制度運営事業 [3,114,576円／佐賀県補助事業]**

- 佐賀県原産地呼称管理制度に基づいて認定された純米酒・本格焼酎である「TheSAGA認定酒」の認知度向上・普及拡大のため、販促物の製作や試飲会等のイベントを実施した。
- ア 佐賀県原産地呼称管理制度認定品リーフレットの作成  
春認定分：35,000枚、秋認定分：20,000枚
  - イ 佐賀県酒造組合への補助（佐賀県佐賀酒ファン獲得・拡大プロジェクト事業費補助金）
    - 試飲会の開催（6/16 第11回「探そう！美味しい！佐賀の酒 in 東

京」)

- 乾杯イベントの開催 (10/1)
- 酒ムリエコンテスト (全国きき酒選手権大会佐賀県予選会) の開催 (7/30)
- 大学生向け日本酒講座の開催 (5月・11月)  
20歳以上の大学生を対象に日本酒の基礎知識やきき酒の仕方、TheSAGA認定酒について学んでいただき、試飲も行った。
- 佐賀酒ファンクラブ通信事業の実施  
認定酒を取り扱う酒販店や飲食店及び消費者を対象とした「佐賀酒応援団」に対し、認定酒リーフレットの提供や県酒造組合 HPでの紹介、消費者へは佐賀酒イベントやお酒に関する情報をお知らせする等の認定酒のPR活動を実施

## (8) こだわりの佐賀ん酒ブランドプロモーション事業

[67,587,041円/佐賀県補助事業]

原産地呼称管理制度に基づいて認定された純米酒・本格焼酎である「TheSAGA認定酒」を核とした集中的なプロモーションとして、首都圏・関西圏の一大消費地において、日本酒の潜在需要である女性をメインターゲットとした情報発信や飲用まで結びつける各種イベントを実施して、佐賀酒飲用層のシェア拡大を図った。

ア SAGA SAKEディナー@リッツカールトン大阪・スイスホテル南海(8/29)  
リッツカールトン大阪とスイスホテル南海において、佐賀の食材を使用したディナーと佐賀酒を楽しむイベントを開催。

イ 佐賀の日本酒を楽しむ会@ホテルグランヴィア大阪 (8/30)  
酒販店・料飲店を対象とした1部(試飲商談会)と消費者を対象とした2部(楽しむ会)の2部構成にて開催。佐賀県酒造組合としては、初めての大阪開催となった。

ウ 佐賀ん酒×サプール@Commune 2nd (東京南青山) (10/14)  
サプールをテーマに新たに佐賀酒の見せ方を提案したイベント。外国人などの来店も多い Commune 2nd をジャックして開催。蔵元もサプールをテーマに派手な衣装を身にまとい、各蔵のPRタイムでは来場者と一緒に一斉乾杯を行った。

エ SAKURA CHILL BAR (サクラチルバー) by 佐賀ん酒@Zero Base 表参道 (3/1~11)

桜の花びらが舞い散る中で、チルアウト(ゆったりとした)体験ができるバーを設置。

1階から2階に伸びる大きな一本桜の下や、桜の花びらが膝の高さまで積もっている「桜プール」の中で、佐賀ん酒22銘柄からお好きな3種類を選ぶ飲み比べや、佐賀の名産おつまみとのセットで TheSAGA認定酒を集中的にプロモーション。

**(9) 大都市圏販売力強化支援事業 [26,332,723円/佐賀県補助事業]**

県産加工食品の大都市圏への販路開拓・拡大を図るため、県内事業者の企画力や商品開発力の向上、マッチングの支援、新たなチャネル開拓、営業活動支援など実施した。

ア 県内食品関連事業者の商品開発力・品質管理等のスキルアップを目的とした各種セミナーを開催。

- (1)「食品の戦略的販路開拓セミナー」(5月17日開催：62社・団体、78名参加)
- (2)「加工食品の販路別セミナー」及び「個別相談会」(6月～12月まで計7回開催：延べ101社参加)
- (3)「食品表示セミナー」及び個別相談(9月20・21日開催：計179名参加)

イ バイヤー等仕入担当者との商談機会の提供

- (1)佐賀県特産品商談会(10月25日開催：104社出展、来場者：184社・415名)
- (2)個別商談会(10月25日開催：県内の加工食品事業者22社とバイヤー17社・21名が商談。計114商談)
- (3)スーパーマーケット・トレードショーでの佐賀県ブース出展(2月14日～16日：25社出展)

ウ 各種フェア・イベントの開催

- (1)伊勢丹新宿店「がばいうまかあ！ I S E T A N佐賀特集」(6月14日～20日：17社出店)
- (2)日本橋三越本店「がばいうまかあ！ MITSUKOSHI 佐賀特集」(6月28日～7月4日：8社出店)
- (3)ボンラパス「佐賀県銘品展」(10月19日～23日：5店舗)
- (4)イオン九州「佐賀うまいものフェア」(1月19日～21日：135店舗)

エ 食品卸売企業への提案

問屋の機能(営業・商品管理・物流等)を活用した県産品の提案、商談活動を行い、県内事業者の営業活動を支援。

**(10) 県産品海外リサーチ・アンド・トライ事業**

**[5,953,147円/佐賀県補助事業]**

平成28年度に実施した県産品輸出可能性等調査事業のフォローアップ等を実施し、県産品の海外への販路拡大の促進を図った。

ア 輸出可能性がある地域や品目について、県内業者への調査結果等の還元や、輸出の実現や商品の定番化のための取組を実施した。

- ベトナムの食品バイヤー招へい(6月)
- 香港のEコマースバイヤー招へい(10月)
- ブラジルの日本酒イベント参加(11月)
- フランスの日本酒バイヤー視察研修対応(1月)

- ブラジルの日本酒バイヤー招へい（1月）
- イ 他の地域や重点品目以外の品目について、輸出可能性等調査を実施した。
- EU市場調査（11月）
- アメリカ市場調査（2月） 等

#### (11) 海外市場における佐賀ブランド確立事業

**[4,687,235円／佐賀県補助事業]**

海外市場における佐賀ブランドの確立に取り組み、高品質な県産農林水産物等の輸出促進を図るため、シンガポールの高級レストラン Tower Clubにおいて、Tower Club 料理長及び銀座季楽料理長が県産農林水産物を使用したメニューを考案し、現地料理人やメディアを招待して県産農林水産物の紹介及び料理の提供を行った。

- 期 日：平成30年2月8日（木）
- 参加者：58名

#### (12) Oishii! SAGA 輸出チャレンジ支援事業

**[14,086,463円／佐賀県補助事業]**

県内加工食品事業者の輸出に向けたチャレンジを支援することにより、海外で売れる佐賀の美味しいもの（Oishii! SAGA）のモデルケースを作成するなどして、県内事業者の輸出機運を醸成するとともに、県産加工食品の磨き上げと海外市場における販路拡大を図った。

ア 県内加工食品事業者が行う取組に対する国内外での側面支援や、事業報告会及び研修会の開催などを実施した。

- 中国展示会出展への同行（9月）
- 香港市場視察への同行（10月）
- 台湾佐賀県産品フェアへの同行（3月）

イ 事業報告会及び研修会の開催  
食品グローバル研究会の開催（計3回）

ウ 加工食品事業者が行う海外販路開拓へ向けた取組に必要な経費に対し補助を行った。

- 補助金交付事業者数：32社
- 補助金額実績：9,926,379円
- 補助事業の内容：市場調査、商談会・展示会等への参加小売店等での試食、輸出向け製品の開発、等

## 7 その他県産品販売支援に関する支援（他2）

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

### 【事業の内容】

#### (1) 各協議会等との連携推進事業 [95,726,140円/自主・佐賀県補助事業]

県産品の販路開拓、情報発信など販売促進について、関係協議会（県・市町・関係団体等）等と連携、協力して推進した。

### 【参考】関係協議会等

#### ① 新うまい佐賀のりづくり運動推進本部

「佐賀海苔®有明海一番」を牽引役として、「佐賀海苔®」の高品質イメージを定着させ、ノリ市場における「佐賀海苔®」の評価向上を図る事業を支援した。

##### ア 佐賀海苔®有明海一番認定事業

○さらにおいしい佐賀海苔®有明海一番を選定するため、選定基準見直しを実施した。

○見直した選定基準で平成29年11月26日と平成30年1月13日に「佐賀海苔®有明海一番」の食味検査を行った。

##### イ 「佐賀海苔®」PR事業

○歳暮期に佐賀海苔®有明海一番創設10周年イベントを都内百貨店で行い、PR及び販売促進活動を実施した。

○歳暮期の売り上げは前年比約1.5倍（速報値）を達成（主要商社調べ）した。

#### ② 唐津玄海地区水産物消費拡大協議会

玄海地区水産物の積極的なセールスプロモーション活動等によって、玄海水産物のブランド力を向上させ、新たな販路開拓を図った。

##### ア 東京・福岡等の都市圏におけるPR

○首都圏の飲食店の販路拡大のため、「お試し朝獲れパック」のチラシを作製し、配布を行った。

○水産物サンプルを都内飲食店及び大手回転寿司チェーンに提供し、そのことをきっかけに、両者との商談が成立した。

##### イ 「唐津お魚まつり」等の地元でのPR事業

平成30年10月22日に「唐津お魚まつり」を開催し、他機関と連携し、玄海水産物のPRを行った。

#### ③ “さが”農産物ブランド確立対策協議会

大都市圏を中心に本県産の高品質な農産物のブランドを確立し、市場での評価をさらに高めるための支援等を行った。

##### ア 福岡都市圏での県産品PRイベントの実施

福岡県糸島市で開催された「Sunset Live 2017」に佐賀県ブースを出店し、佐賀牛をPRした（平成29年9月2～3日）。

イ 県知事のトップセールスを実施。

○大阪府中央卸売市場及びビバシティ彦根において、露地みかんや佐賀牛のトップセールスを実施した（平成29年10月26日）。

○銀座三越及び日本橋三越において、さがほのかのトップセールスを実施した（平成30年1月18日）。

#### ④ 佐賀の米・麦・大豆マーケティング協議会

「さがびより」を核とした佐賀県産米・麦・大豆の認知度向上及び販路拡大、消費拡大を図った。

ア CM、広告等作成

○「さがびより」のテレビCMリニューアル

○NBC ラジオCM作成、佐賀駅デジタルサイネージ広告掲載

○博多駅市営地下鉄デジタルサイネージ広告掲載

○武雄温泉駅ホーム看板掲出

○佐賀新聞へ広告掲載

○月刊ぷらざへ広告掲載

○ぷらざランチ巡りBOOKへ広告掲載

○食糧ジャーナルへ広告掲載

イ 佐賀米提供、サンプリング

○ABC クッキングにて「さがびより」を提供

○さがびより新米キャンペーンの実施（ごはん家椒房庵にて、さがびよりを提供）

○全国高校野球出場校へ佐賀米贈呈、全国ラグビー出場校へ佐賀米贈呈

○サガン鳥栖「勝利米」寄贈

Jリーグのホームゲームで勝利した場合、サガン鳥栖の選手が、県内の福祉施設に「さがびより」を「勝利米」として寄贈

#### ⑤ 佐賀県農林水産物等輸出促進協議会

海外市場における佐賀ブランドの確立に取り組み、高品質な県産農林水産物等の輸出促進を図る事業を支援した。

○輸出入関係者やシェフ等の招聘事業

・食肉バイヤー招聘（香港、シンガポール、タイ、フィリピン）

・加工食品バイヤー招聘（台湾、シンガポール）等

○海外での販売促進活動

・ホテル・飲食店での牛肉フェア（香港、マカオ、タイ、フィリピン）

・小売店での青果物フェア（香港、シンガポール）

- ・加工食品の展示会・商談会への出展（中国、香港）
  - ・花き商談会への出展（アメリカ）
  - ・青果物の鮮度保持試験輸送（カナダ） 等
- 海外市場開拓調査
- 台湾向けいちご生産地の視察

### 第3 庶務事項

#### (1) 理事会

年月日	内 容		
H29.6.12	第1回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案	平成28年度の事業報告、計算書類及びそれらの附属明細書並びに財産目録の承認の件 定款変更の件 評議員会招集の件
H29.7.21	第2回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案	代表理事及び業務執行理事の選定の件 評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程変更の件 評議員退任に伴う選任候補者の推薦の件 評議員会の招集の件
H29.8.1	第3回理事会	第1号議案 第2号議案	理事長（代表理事）選定の件 副理事長（業務執行理事）選定の件
H29.12.14	第4回理事会 （書面）	第1号議案 第2号議案	平成29年度事業計画及び収支予算変更の件 評議員会の招集の件
H30.3.6	第5回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案	平成29年度事業計画変更の件 平成30年度事業計画及び収支予算の件 公益目的事業の変更認定申請手続き及び申請書類等の補正を理事長に一任する件 一時借入最高限度額の件 定款変更の件 評議員会の招集の件
H30.3.12	第6回理事会 （書面）	第1号議案	評議員会の招集の件
H30.3.28	第7回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案	平成30年度事業計画及び収支予算の変更の件 九州シンクロトン光研究センター所長選任の件 事務局長選任の件 評議員候補者の推薦の件 評議員会の招集の件



## (2) 評議員会

年月日	内 容		
H29.6.28	第1回評議員会	第1号議案 第2号議案	平成28年度決算の計算書類及びそれらの附属明細書並びに財産目録の承認の件 定款変更の件
H29.7.28	第2回評議員会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案	定款変更の件 評議員及び役員報酬等並びに費用に関する規程変更の件 評議員退任に伴う評議員の選任の件 理事の退任及び理事追加に伴う理事の選任の件（評議員提案）
H29.12.14	第3回評議員会 （書面）	第1号議案	平成29年度事業計画及び収支予算変更の件
H30.3.22	第4回評議員会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案	平成29年度事業計画変更の件 平成30年度事業計画及び収支予算の件 公益目的事業の変更認定申請手続き及び申請書類等の補正を理事長に一任する件 定款変更の件 理事退任に伴う理事選任の件 （評議員提案）
H30.3.28	第5回評議員会 （書面）	第1号議案 第2号議案	平成30年度事業計画及び収支予算の変更の件 評議員2名の選任の件